



のう じ でん そう 農 時 電 送

馬鈴しょNo.1

JAきたひやま・JA新はこだて若松基幹支店・JA今金町
檜山農業改良普及センター檜山北部支所 TEL 84-5514

馬鈴しょの病害虫防除について

令和2年の天候は、気温の変化が大きく、断続的な降雨がありました。疫病が直ちに発生する条件ではありませんが、予防的な防除は必要になります。排水が悪いほ場や、防風林ぎわなど風のこもる場所では高湿度となるため、馬鈴しょ疫病の発生に注意が必要です。またアブラムシの多発生も多めで注意が必要です。

《疫病》

- ・ 6月上中旬から7～10日間隔の予防散布を基本とします。
- ・ 疫病の発生がみられた場合、防除間隔を短縮し、治療効果のある薬剤を使用してください。
- ・ 耐性菌の発生を防ぐため、同一成分の薬剤による防除を避けましょう。

表1 馬鈴しょ疫病に効果のある薬剤一覧（例）

薬剤名	予防/治療	使用濃度	使用回数	使用日数
グリーンペンコゼブ水和剤	予	400～600倍	10回	7日前
ゾーベックエニケード	予・治	5000倍	2回	7日前
ゾーベックエンカンティア	予・治	2000倍	2回	14日前
リライアブルフロアブル	予・治	800～1000倍	3回	7日前
プロポーズ顆粒水和剤	予・治	750～1000倍	5回	7日前
フロンサイドSC	予	1000～2000倍	4回	7日前
レーバスフロアブル	予・治	1500～2000倍	2回	7日前
ホライズンドライフロアブル	予・治	1000～2500倍	4回	14日前

※レーバスフロアブル、プロポーズ顆粒水和剤は、同じ系統（カルボン酸アミド系）なので連用を避ける。

《アブラムシ》

- ・ 発生時期やアブラムシの種類に応じて薬剤を選択しましょう。
- ・ 特に種子馬鈴しょほ場は、周辺雑草（クローバ、ヨモギ等）の除草に努めてください。

表2 アブラムシの種類と有効な薬剤一覧（例）

薬剤名	浸透移行	使用濃度	使用回数	使用日数	アブラムシの種類		
					ジャガイモヒゲナガ	モモアカ	ワタ
ダーズバン乳剤40	○	1500倍	2回	7日前	◎	◎	○
ベジホン乳剤	○	1000～2000倍	2回	30日前	◎	◎	○
モスピランSL液剤	○	2000～6000倍	3回	7日前	○	◎	◎
ダントツEXフロアブル	○	5000倍	3回	7日前	○	◎	◎
ピレスコ顆粒水和剤	○	5000～10000倍	3回	7日前	◎	◎	◎

土壌病害の拡散防止！機械・長靴の洗浄励行！
農作業安全～疲れは事故を招きます。休憩・睡眠は充分に！